

神の会衆

シリーズ・パウロ

第36回

「教会」を大切にしたパウロ

- パウロは多くの町々でキリストの福音を宣べ伝え、信仰に入った人々を「教会」と呼ばれる集まりに加えていった
 - 信仰は個人的なものだが、信仰生活は集団で行うもの
- 「教会」の原型は、ユダヤ教の「会堂」(シナゴグ)にあった
 - シナゴグとはイスラエルを離れたユダヤ人が作っていた集まりであり、そのための建物のこと

「教会」の語源

- 「エクレシア」(ギリシャ語):「エクレシア」は「**エク**」(～から)と「**カレオー**」(呼ぶ)の合成語で「**呼び出された者たち**」の意
- 旧約聖書において「集会」や「集まり」を表す言葉「**カハル**」(ヘブル語)に由来する
 - 70人訳聖書(ギリシャ語訳旧約聖書)では「カハル」が「エクレシア」と訳されている
- クリスチャン全体を表す場合と、地域の集まりを表す場合がある

「会堂」の語源

- 「シナゴグ」(ギリシャ語):「シナゴク」は「スン」(共に)と「アゴー」(行く)の合成語で「寄せ集められた者たち」の意
- 旧約聖書において宗教的祭儀や律法を中心とした共同体を意味する「エダー」に由来する
 - 70人訳聖書(ギリシャ語訳旧約聖書)では「エダー」が「シナゴグ」と訳されている
- パウロは「会堂」を拠点に宣教し、「教会」を生み出していった

新しいユダヤ人としての教会

- 教会はアブラハムの霊的な子孫である
 - 「あなたがたは、もしキリストのものだとするなら、とりもなおさず、アブラハムの子孫であり、約束による相続人です。」＜ガラテヤ 3:29＞
 - アブラハムはユダヤ人の父祖であり、神は彼の子孫を通して世界を祝福すると約束された
- ユダヤ人に代わって神の祝福を受けている
 - 「ある枝が折りとられ、野生のオリーブであるあなたが、その代わりに接ぎ木され、根から豊かな養分を受けるようになった」＜ローマ11:17＞

キリストのからだとしての教会

- キリストが「かしら」である
 - 「神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました。」＜エフェソ1:22＞
- 教会はキリストの「からだ」である
 - 「教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。」＜エフェソ1:23＞
- 教会は、キリストの監督と指導のもとでキリストの意志を実行する集まりである

人として成長するための場

- クリスマスは、教会の一員として与えられた賜物を生かしてキリストに仕える
- 互いに補い合い助け合って全体が機能する
- 「愛」によって結ばれ全体が成長する
 - 「キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり組み合わされ、結び合わされて、おのおのの部分は分に応じて働いて体を成長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。」＜エフェソ 4:16＞

世界が一つになるために

- 正しく生きていくための土台としての教会
 - 「神の家とは、真理の柱であり土台である生ける神の教会です。」＜1テモテ3:15＞
- 祈り合い、仕え合う場としての教会
 - 「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。」＜1ペトロ4:10＞
- 世界が一つになるための教会
 - 「時が満ちるに及んで、救いの業が完成され、あらゆるものが、頭であるキリストのもとに一つにまとめられます。」＜エフェソ1:10＞